

# 日本共産党

2025年 第4回定例会 議会報告  
ぎかいほうこう

長年の運動で「小学校給食無償化」が実現の見込み。とてもうれしいです！バスの日曜・祝日運行や北総線問題のほか、生活の相談への対応やみなさんの要望実現のために、二人三脚でがんばります！



とくもと みつか ねもと  
徳本光香 根本あつ子

けんり ようぼう

ぎいん

## 「市民の願い」「生きる権利の要望」を見捨てる議員たち

多くの白井市議は、市長が出す議案には全て賛成する一方で、市民が出す「陳情」や、私たちの出す「発議案」には反対することが多いです。けれどあきらめずに、市民や困っている人が生きやすくなるよう、寄りそう姿勢をつらぬきます。

**市民の陳情** 市は、市民アンケート結果を生かした「文化センター改修」をして下さい



**【結果】**趣旨採択 = 願いには賛成するが、実現の確信がなく反対もできない時の決定

### 白井市の方針

大ホール 音響・舞台等の設備を縮小  
中ホール 一部機能を廃止  
図書館 本をへらし面積を縮小  
郷土資料館 展示室を縮小  
プラネタリウム 一部機能縮小か廃止

### アンケート結果

市の方針に対し  
「機能縮小に反対」  
「機能維持」  
の意見  
多數



**賛成して当然の要望に9人が論理破綻の「趣旨採択」**

久保田市議は、アンケートは一部の市民の回答で、費用・財源等の情報がなく、議会が方針をいま判断するのは適切でないと「趣旨採択」を提案。情報はある上に、陳情者は議会に方針の判断など求めておらず、理由が滅茶苦茶でした。市のため賛成して当然の陳情で、市も重視すべきです。

## 市議10人 物価高と違法な生活保護費引き下げに苦しむ人々を放置

**発議2** 国に「生活保護費基準の物価高に見合う引き上げ」を求める意見書

**【結果】**  
不採択

生存権をめぐる【いのちのとりで裁判】で千葉地裁や最高裁判所等が「2013からの、政府の意図的な計算による最大10%の生活扶助費削減は違法」と判断し、原告32勝。しかしながら、高市政権は判決を無視し、再び保護費の削減を決めました。

市議10人は質問も理由も言わずに反対。政府の「命に関わる違法」と対応のひどさに、なぜ改善を求める？苦しむ人々に寄りそうのが議員の仕事では？



**反対** **議案14** 第6次総合計画 前期基本計画

徳本・根本のみ反対 X / ほか全員賛成 O

良かった点は、市民の意見を集め、体育館のエアコン設置、子ども達の意見を取り入れたバスケットゴール設置、外国籍市民との共生などを入れたこと

X 前の総合計画の評価や反省点をどう生かしたかが、わからない。市民の要望が多い、北総線値下げ・バス・介護問題などの具体的な政策が見えづらい。また、規制せずデータセンターを誘致しながら「住環境を守る」目標をかけるのは、大きな矛盾です

提案者=★ 賛成者=● △=趣旨採択

12/18 生活保護費引き上げ意見書の審議映像



市民の声  
(荒井=立憲民主党)

〈新会派〉希望の扉  
(久保田=参政党)

しろい令和  
(自民党)

会派  
公明党

New Wave  
しろい

徳本	根本	柴田	小田川	荒井	岩田	田中	広沢	石田	久保田	長谷川	古澤	石井	武藤	石原	平田
----	----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	----

陳情 文化センター改修に市民アンケート結果を生かして

○	○	○	○	○	○	欠	△	△	△	△	△	△	△	△	△
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

発議1 後期高齢者医療から子ども子育て支援金の除外を

○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

発議2 国は、生活保護基準の物価高に見合う引き上げを

○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	×	×	×	×
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

毎月第3土曜は 無料の法律生活相談

〈要予約〉裏面下の徳本・根本の連絡先へ  
14~16時/1組30分/弁護士が対応します  
第608回 2/21(土)西白井複合センター工芸室

みつか&あつ子の おしゃべり議会報告会

市議会の現状をお話します。疑問や要望など、自由に話しに来て下さい  
1/31(土) 14時 西白井複合センター工芸室 17時 桜台センター作法室  
2/8(日) 14時半 白井駅前センター研修室2



日本共産党市議は12月議会で、23議案に賛成、9議案に反対。賛成したのは、団員不足の消防団の再編、障がい者福祉や生活保護費の不足分の補正、市の職員の給与アップなどです。

# 反対 住民合意なく住宅街に高さ40mのデータセンター

## 議案7 DC(Data center) を許可した「地区計画」を元に、建築基準法上も指導可能に

2つの地区計画=①市役所の南側に高さ50mのDC、②南山と池の上の間の「富ヶ谷」にDCのみ高さ40mまで建設を許可する内容を、市の条例に加えて強化します

**X** 議案審議で、ある議員と広沢委員長が、根本市議の「住民の合意を得たか」等の質問に、DCの質問は控えるよう発言して妨害し、課長は質問に答えず。審議自体が非常に不公正

**X** 「地区計画」に出された市民と利害関係者の意見書は**反対290通、賛成53通**で、合意が得られていないのは明らかです。

けれど市は「周辺環境に配慮」して高さ40mに「制限を厳しく」したと居直り、市長は近隣自治会からの要望書に回答すらせず

**X** 昨年7/2の都市計画審議会で「建築」「都市計画」の専門家2名が「富ヶ谷の地区計画」に反対しましたが、議員5名(伊藤・広沢・平田・久保田・石田)は、議論もせずに賛成



40m

10m以下

25m

巨大DC4棟  
雇用は少数



1日250台

議案7 「地区計画」 (市役所南に高さ50m、富ヶ谷に40mまでのDC建設のみ認める)を条例に追加	日本共産党		市民の声(荒井=立民)			希望の扉(久保田=参政党)						しろい令和 (自民党)		会派 公明党			New Wave しろい
	徳本	根本	柴田	小田川	荒井	岩田	田中	広沢	石田	久保田	長谷川	古澤	石井	武藤	石原	平田	
	<b>X</b>	<b>X</b>	<b>X</b>	<b>X</b>	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ほいくかんれん

きょうつう

## 保育関連6議案に共通する問題は 保育士不足

伊藤=議長のため裁決に不参加

### 反対

#### 議案1・3 公立「清水口保育園」を民営化 (徳本・根本X/他全員O)

市は、市の財政負担を減らし、公立保育園の保育士を集約するため、公立3園のうち、「清水口保育園の民営化」を決めました

**保育士不足**で、白井市の待機児童は95人も。そのため、清水口保育園の受け入れ定員は本来180人ですが、今は120人に減らし、民営化後はさらに100名に減らすそうです



民営化後も「一時保育」「医療的ケア児受け入れ」などは継続されますが、公立保育園の重要な役割は「年度途中でも入園できる余裕がある」ことで、私立園には難しいため、私たちには民営化に反対しました

### 反対

#### 議案4・6 「保育士」に「地域限定保育士」を追加 (徳本・根本X/他全員O)

**保育士不足**を補うため、資格を取る要件を大幅に緩和

	保育士	〈新〉地域限定保育士
資格	国家資格	国家資格(全国に拡大)
専門学校	<b>必要</b>	<b>不要</b>
実習・実技試験	<b>必要</b> 合格率3割弱	実習不要/27時間の講習を受ければ実技は <b>全部免除</b>
働く地域	全国どこでも働く	3年たち、資格を取った県で約1年働けば、全国で働く



根本あつ子

子ども達の命をあずかる上で重要な、実際に子どもに接する「実習」が不要な「地域限定保育士」試験は、専門性や安全の面で心配です。本来は国が、他の職業と比べて低すぎる保育士の給料を上げて保育士を増やすべきなのに、それをせずに条件をゆるめるのは問題です

### 反対

#### 議案18・19 4月~「こども誰でも通園制度」開始 (徳本・根本X/他全員O)

「誰でも通園制度」は、保護者が仕事をしているかに関係なく、スマホで予約し、月10時間まで0才6ヶ月~3才未満の子を保育施設にあづけられ、保護者の需要が多いです。

**X** けれど、一番大事なのは子どもを**「安全にあづかれるのかどうか?」**

そのためには、病歴・生活環境などその子の多くの情報が必要です。

**保育士不足**のなか、普段あづかっていない子を無理して受け入れ、万が一、事故が起きれば、市や園の責任になってしまします。



「待機児ゼロ」や安心な保育のため、正規の保育士を増やすのが先! 安全に対応できる準備ができてから取り組むべきです!